

2 事業名：芝を活用した畦畔管理実証事業

要約

- ・平成 27 年度から平成 30 年度までに実施した芝を活用した畦畔管理実証試験について、協力いただいた農家に芝の管理についてアンケート調査を実施した。
- ・実証試験及びアンケート結果をふまえて、ベントグラスの栽培指針を作成し、農家へ周知する。

担当者：松本農業改良普及センター 原、安曇野市農林部農政課生産振興担当 池松

1. 課題設定の背景と目的

畦畔の除草に係る負担を軽減するため、平成 27 年度から平成 30 年度まで、寒冷地型の芝「ベントグラス」を試験的に導入し、今年度、協力いただいた農家にアンケート調査を実施した。この結果をふまえて、ベントグラスの生産管理の方法を栽培指針にまとめ、農家への周知を実施する。

2. 栽培指針の内容

(1) 作型 適品種：畦畔グリーン(雪印種苗(株))
種まき期：8/20～9/10 ※平均気温 20℃確保

(2) 特性

クリーピングベントグラス (creeping bent grass)

- ・イネ科コヌカグサ属 *Agrostis* の常緑多年草で、芝草や牧草として利用されるものの総称。
- ・北半球温帯、亜寒帯に分布する。
- ・冷涼気候を好み、耐暑性が弱く、日本では特に夏季の高温多湿とその後の乾燥による生育不良が問題となる。

畦畔グリーン (商品名)

- ・寒地型芝草の一種である、クリーピングベントグラス。
- ・耐寒性が高く、生育期間が短い長野県でも旺盛に生育する。
- ・畦畔の地表面を地上ほふく茎で密に覆い、地表面に 15～20cm 程度のマット層を形成する。
- ・隙間をなくすことによって雑草の侵入を最小限に抑える。

(3) 種まきの準備

①雑草対策

- ・種まき前の雑草処理は、最も重要な作業となる。
- ・種まきの 2～3 週間前を目安に既存の雑草にラウンドアップ等の非選択性除草剤を散布する。
※チガヤやススキなど、根茎で増殖する雑草は確実に枯死させること。
- ・枯れた雑草を 10cm 程度に刈り払い、土が見える程度に枯葉を掻き取る。
※枯草を草丈 10cm 程度残すことにより、ベントグラス種子の流亡防止、乾燥防止効果あり

②は種時期の設定とは種量

- ・平均気温 20℃以上を一定期間確保できる、8 月下旬から 9 月中旬までが種まきの適期。
※越冬までに十分な生育量を確保したい。
- ・週間予報を注意し、降雨の予報の前に散布日を設定するとよい。

(4) 種まきの方法

- ・ベントグラスの種子に化成肥料 30～50 g/m²を混ぜて、畦畔に均一に散布する。
- ・は種後は覆土は行わない。
- ・は種後、スコップ等でたたくと種子が落ち着く。また、乾燥が続く場合はかん水を行う。

(5) 種まき後～春先の管理

①水・肥料

- ・温度・水分条件などの環境が整うと、7～10 日で発芽する。
- ・南斜面や道路直下の土手などの乾燥しやすいところは発芽不良になりやすい。
- ・発芽 1 カ月後から遅くとも 10 月下旬までに、チッソ成分 10% 以下の肥料を均一に散布する。

★ポイント：越冬までに草丈 10～15cm の芝のマットを形成すること！

②雑草防除

- ・4月に入ると越冬した芝にスギナやヒメオドリコソウなどの雑草が見え始める。
- ・法面の芝に散布できる除草剤は限られているので、防除基準に従って散布する。
- ・イネ科雑草は手で抜く。芝の草丈が5cm以上の位置での掃除刈りを行うとマット密度が増加。
- ・地際での刈り払いや火入れはマットの密度が低下し、結果的に雑草が侵入するので注意。

★ポイント：芝が畦畔を覆いつくすまでの約2年は、しっかりとした管理が必要！



写真1 豊科 (H29.5.23)
※畦畔の上が道路⇒道路際にナギナタガヤが生育



写真2 穂高 (H29.5.23)
※畦畔の上下が水田⇒マット化が進む

(6) 害虫防除

①カメムシの水田内への飛び込み

- ・イネの出穂期が例年より早まるとカメムシによる斑点米の被害が増える傾向がある。
- ・また、早生のイネ品種を作付けする場合は、カメムシの防除が必要になることがある。

②ヨトウムシの防除

- ・ベントグラスがチッソ過多で生育すると、ヨトウムシ（ヨトウガの幼虫）が発生しやすくなる。
- ・幼虫を見つけた場合は捕殺するか、シバに登録のある殺虫剤を散布する。

(7) 越冬前10月の管理

◎発芽不良箇所への追播と、越冬前の生育量確保のための施肥

- ・発芽状況が著しく悪い場合は、その箇所だけ追播が必要。※(3)、(4)のやり方で
- ・ベントグラスの間から発生している広葉雑草やスギナは、特に処置は不要。
- ・10%程度の普通化成（水稲用）を100㎡あたり2～3kg程度施す。尿素や硫酸は肥料ヤケを起す可能性があるため施用しない。

3. アンケート結果の抜粋（生育管理上の注意点・アドバイス）

- ・芝の種まきを何度もやり直したが、芝の生育に適した土地でないと他の雑草に負けてしまう。
- ・石場では発芽しない。
- ・1年目の管理が重要なので、1年目は手間がかかっても早く芝で全体を覆うことを優先する。
- ・種を苗箱に播種してハウスで育ててから畦畔に移す方法もある。
- ・穂がつく時に芝の草丈がかなり伸びる。また、花粉が非常に飛ぶのでイネ科の花粉がダメな人はアレルギー反応が強くなると思われる。

4. 成果の活用と今後の方向性

栽培指針の作成・配布及び、ホームページへの掲載によりベントグラスの生産管理方法を農家へ周知する。